

トラック3(足コキ・くすぐり)

入っていいよー

「主人公が由希の部屋に入る」

SE・扉を開ける音

(嬉しそうに)

あはっ、兄貴、またしてほしくなったんだ

遠慮しないでとは言ったけど、本当に来るなんて

(→→→まで)

いいよ、約束通りしてあげる

今日は、足でいじってあげるね

あたしのベッド、使っていいよ

服脱いで、横になって

今日はさ、してみたいことがあるんだ

(無声音囁き)

縄で兄貴の手足、縛らせてくれない？

(→→→まで)

大丈夫、痛いことや怖いことはしないから

(誇らしげに)

この前あたしにしてもらったの、

すっごく気持ちよかったでしょ

(→→→まで)

それは、あたしに身を委ねたから

もっとあたしに任せたら、もっと心地いいと思わない？

(誘惑するように)

手足を縛られて、あたしにされるがまま

動けないけど心は解放されて、この前以上の快樂が味わえるよ

(→→→まで)

(嬉しそうに)

おっけー？ やったあ！

(→→→まで)

(楽しそうに)

兄貴、両手出して♪

手首を縛って…よし

足首も揃えて、きゅきゅと…

仕上げに、それぞれベッドの柱に結び付けて…

(→→→まで)

これで兄貴、もう抵抗できないね

いったい、何されちゃうんだろうね？

(無声音囁き)

もっとドキドキしてほしいから…アイマスクもつけるよ

(→→→まで)

真っ暗で、何も見えない？

(安心させるように)

怖がらないで、兄貴がほんとに嫌なことはしないから

(→→→まで)

兄貴の脚の上に、乗らせてもらうね

んー、半勃ちってどこかな？

(得意げに)

まずはフル勃起させたげる

兄貴の顔、踏ませてもらうよ

(→→→まで)

ルーズソックスの匂いはどう？

部活の靴下とは、また違った匂いでしょ

このルーズは、1週間くらい履いたかな

空豆臭と納豆臭がいっぺんに襲い掛かってくるような、

香ばしくて濃い匂いが、鼻から脳の奥に響いちゃうね

(ゆっくり話す)

さあ、鼻から大きく息を吸ってー

吐いてー

また大きく吸ってー

吐いてー

(→→→まで)

肺の中をルーズの激臭でいっぱいになれば…

ほら、チンコガチガチになった

んー、この豊潤な足臭、嗅^{あしけう}がせないのはもったいないな
片方は顔に巻き付けるね

汗をたっぷり吸い込んで足裏のとこ、鼻に押し付けて、
顔をすっぽり、ぐるぐる巻きにしちゃうよ

生地が分厚くて、息苦しくなっちゃうね

大丈夫だよ、深く呼吸すれば、ちゃんと酸素吸えるから

(←「もわーん」を強調)

濃密な空豆臭と納豆臭が、もわーんって広がるけど、

兄貴はそれがいいんだもんね

それじゃ、カウパーとるところ垂らして、期待してるチンコを…
生足とルース足で、サンドイッチしちゃう

もちもちすべすべな足裏と、

柔らかくて、ちよつとぎらぎらなルース足裏

(からかうように)

両方堪能できるなんて、兄貴は幸せ者だね

(→→)まで

早速動かすよ

SE:足コキ(低速)

竿全体を、スリスリ、スリスリ…

ぎこちなくて、じれったい？

そのもどかしい疼きを育てるのが大事なんだよ、兄貴

またチンコに意識向けて

(遅めのペースで、無声音囁き)

シコシコ…スリスリ…

シコシコ…スリスリ…

(→→)まで

根本から快感が膨らんできて

カウパー流れ出るの、止められないね

それでいいんだよ、兄貴

気持ちいいんだから、我慢汁お漏らしするのは当然のこと
もつと頭の中…ぐちゃぐちゃにしてあげる

兄貴の左の足裏に…丸めた手を添えるよ

ねえ…何されるところ？

(楽しそうに)

…決まってるよね♪

くすぐり、だよ♪

こちよこちよこちよこ

こちよこちよこ

あはは、身体跳ねさせて笑ってる

(→→)まで)

縛つといて正解だったな

予想以上の反応してくれて、嬉しい♡

くすぐり弱いんだ、兄貴

でも、そんなに笑ったら…

あーあ、咳き込んだじやった

ルースから漂う濃縮足臭を一気に吸い込んだら、そうなるよあししゅう

だからって、やめてあげないけど♪

こちよこちよこちよこちよこちよこちよこ

まだ片手しか使ってないのに、

両手でくすぐったらどうなっちゃうんだろ

あ、ビクッてした

大丈夫だよ、兄貴

最初は辛いけどさ、何も考えられなくなるのが、

だんだんクセになってくるんだ

チンコへの責めも強めるよ

ルースでぐりぐり踏んであげる♪

裏筋を擦られながら、優しく圧迫されると

快感が無理やり絞り出されるね

兄貴はもう、あたしの足に逆らえない

あたしの足を見るだけで、勃起止まらなくなるよ

今だって、我慢汁がルースにどんどん染み込んでる

嬉しいけど、あたしはまだ満足してないよ

あたしの全部を、兄貴の快感と結びつけないとね

さあ、くすぐりも再開

今度は両手で両足をこちよこちよ

兄貴、耐えられるかな？

(とても楽しそうに)

いくよこちよこちよこちよこちよこちよこ

こちよこちよこちよこちよこちよこちよこ

(→→)まで)

うっわあ、すっごくいい笑い声

いや、不器用なのかな？
どっちでもいいか

(楽しそうに)

こゝちよゝちよゝちよゝ

こちよ、ちよ、ちよ、

(↑↑↑)もど)

ゴシゴシズリズリ、ゴシゴシズリズリ
ゴシゴシズリズリ、ゴシゴシズリズリ

こういうのはどうか？

敏感な段差をシコシコ、シコシコ

でもね、こんなの全然限界じゃないんだよ

(やや速めのペースで)

[illegible]

いちよいちよいちよ、シンシンシンシン

(↑)まで)

(遅めのペースで)

すーり、すーり、すーり、すーり

(↑ハハ)まで)

あの時みたいに、胸の奥から温かい快感が湧き出してくる

喘いで、笑って、噎せて……顔はとっても忙しそう
匂いの感想も聞きたいけど、難しいかな

喋れる状況じゃないもんね

まあ、乳首やチンコを見れば、聞くまでもないかもだけど

普通の人なら、1週間履きの靴下なんて嗅がされたら

萎えちゃうのに

天井向いてビンビンだもん

足元から漂う匂いだけでも、ちよつと嫌な気分になりそうなのに
くっさいくっさいルースで顔を包まれるなんて、

あたしならえづいちゃうよ

(からかうように)

でも兄貴は、靴下でオナニーしちゃうくらい、

足の匂いが好きなんだよね

(→→)まで)

大好きな足の匂い、もつともつと吸って？

チンコもぐりぐり踏んであげる

こちよこちよこちよ、ぐりぐり、ぐりぐり、

こちよこちよこちよ、ぐりぐり、ぐりぐり、

(暗示をかけるように)

足裏はくすぐったくて、じつとしていられない

チンコは快感が溢れ出して、カウパー止まらない

乳首はぽかぽか心地よくて、ずつと浸っていたい

お鼻は強烈で濃厚な空豆臭と納豆臭で犯されて、頭くらくら

身体中が気持ちいい

あたしに与えられる全てが気持ちいい

(→→)まで)

良かったね、兄貴

こんなに気持ちよくしてくれる子が、妹になってき

あたしも、兄貴と兄妹きょうだいになれて良かったよ

兄貴を悶えさせるの、すつごく楽しいもん

じゃあ、最高に気持ちよくなる準備しよ

爪先で乳首を、ギュツとするね

しっとりルースから、じんわり快感が送り込まれるよ

すっかり敏感乳首になっちゃったね

(からかうように)

兄貴もブラしたほうがいいんじゃない？

あたしの貸してあげようか？

(→→→まで)

気持ちよきに身体震わせながら、

臭ーいルースの匂い、もっと嗅いで

黒ずんじやうくらい履きこんだ、あたしのルース

足汗をたくさん吸って、ローファーや上靴で蒸らされて…

脱がなきゃいけないときも、ビニール袋に入れてたから、

乾くことなく、ずっと汗びっしょりの状態

激臭になるのは当然だね

兄貴のためにここまで育てたんだから、臭ぎ残さないでよ
全部吸えるよう、あたしも手伝うからさ

(やや速めのペースで)

それ、こちよこちよこちよ、こちよこちよこちよこちよ

ぐりぐりふみふみ、ぐりぐりふみふみ

(→→→まで)

敏感な足裏をずっとくすぐられると、

皮膚が溶けたみたいに感じるね

チンコももうほんとに限界かな

いいよ、踏みにじってあげるから、出しちゃって

(速めのペースで)

ゴシゴシズリズリ、ゴシゴシズリズリ

ゴシゴシズリズリ、ゴシゴシズリズリ

(→→→まで)

イけっ、イけっ、イけっ！

SE：射精音

うわっ、すっごい

兄貴、飛ばしすぎだよ

顔に巻いてるルースまで飛んでるじゃん…

そんなに飛んだの、初めてじゃない？

あ、やっぱりそうなんだ

じゃあそのルース、記念にあげるね

好きに使っていいからね、兄貴♡